

道徳授業地区公開講座 1年生資料

1. 1年生の実態

初めての学校生活を送る1年生は、生活のきまりの1つとして、挨拶や気持ちのよいふるまい、言葉遣いについて学んでいます。教師や親の目の届くところではきまりを守って行儀よく行動できていても、そうでない場面では、つい自分本位に振る舞ってしまうことがあります。行儀のよい振る舞い、行儀がよくない振る舞いを、他者がどう感じるかを考え、積極的に礼儀を大切にすることを育んでいきたいです。

2. 授業について

(1) 主題名「気持ちのよい振る舞い【礼儀】」

(2) 教材名「わんぱく だいちゃん」

行儀が悪いと言われていただいちゃんの、様々な行為について考える教材です。掃除中、友達と用具で戦いごっこをして遊ぶ、帰宅してすぐに、ランドセルを玄関に放り投げて走っていく、音を立てながら給食を食べる等、子どもたちの日常生活と密接に関わる場面が数々出てきます。これまでの自分自身の行動を振り返りながら、だいちゃんの行為を自分事としてとらえ、行儀のよい振る舞いについて考えていきます。

(3) ねらい

行儀のよくないだいちゃんの行為と、その理由を考えることを通して、気持ちの良い振る舞いや動作に心掛けて、明るく接しようとする道徳的实践意欲を培う。

(4) 期待する児童の姿

- ・だいちゃんの行為のよくないところについて積極的に発言し、各々の場面の問題点について活発に意見交流をする。
- ・「よくない」「だめ」で終わることなく、「なぜよくないのか、だめなのか」という理由まで教師が掘り下げること、「行儀がよいと、周りの人たちがよい気持ちになる」ことに気づき、発言する。
- ・自分が行儀よくして、よい気持ちになった経験を振り返り、道徳ノートに書く。

3. 家庭でも考えよう

この時期の子どもたちは、学校生活に慣れ、友達と楽しく過ごせるようになってきた反面、周りの人の気持ちを考えずに行動し、いやな気持ちにさせてしまうことがあります。そこで、自分の生活を振り返り、礼儀の大切さに気付かせることで、学校生活をよりよいものにしていこうとする意欲を育てたいと考えています。外出する機会が減り、家族以外の他者と関わることも少なくなっている昨今ですが、心のこもった行儀のよい行為は、家庭でも実践できることがたくさんあります。「親しき中にも礼儀あり」ということわざがあるように、子どもたちの何気ない行動の中で、周りのいやな気持ちにさせていることはないか、あるいは、よい気持ちになったことはないか、よく知っている間柄だからこそ、この機会に見つめ直し、ぜひ話し合ってみてください。